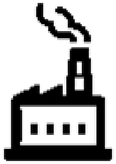
2024(令和6)年度　温室効果ガス排出量

2026年3月26日
旭川市旭山動物園

- 旭山動物園で排出される温室効果ガスは**5,197トンCO2**（令和6年度）
- 燃料からの直接排出のほか、**活動に伴う排出であるスコープ3も測定**している。

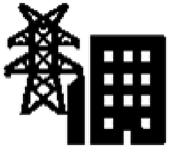
サプライチェーン排出量

Scope1



燃料の使用

Scope2

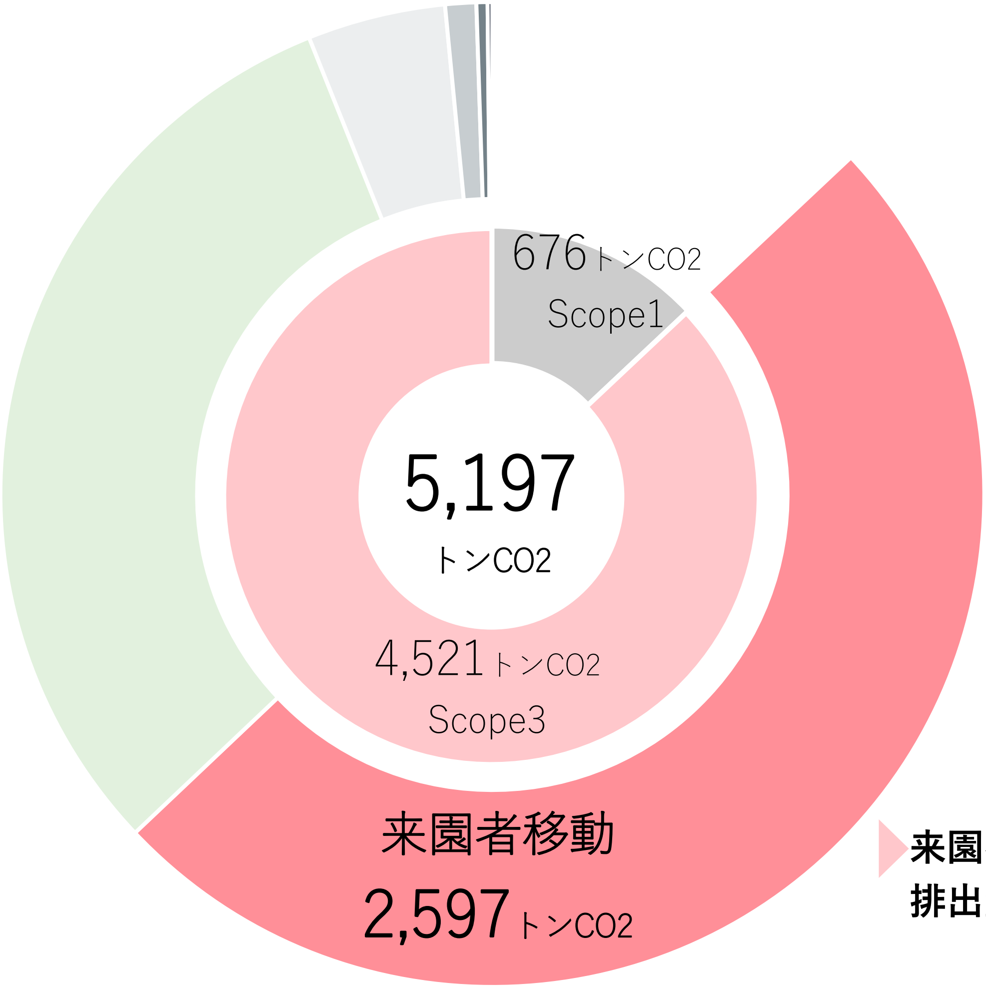


電気の使用　なし

Scope3

活動に伴う排出

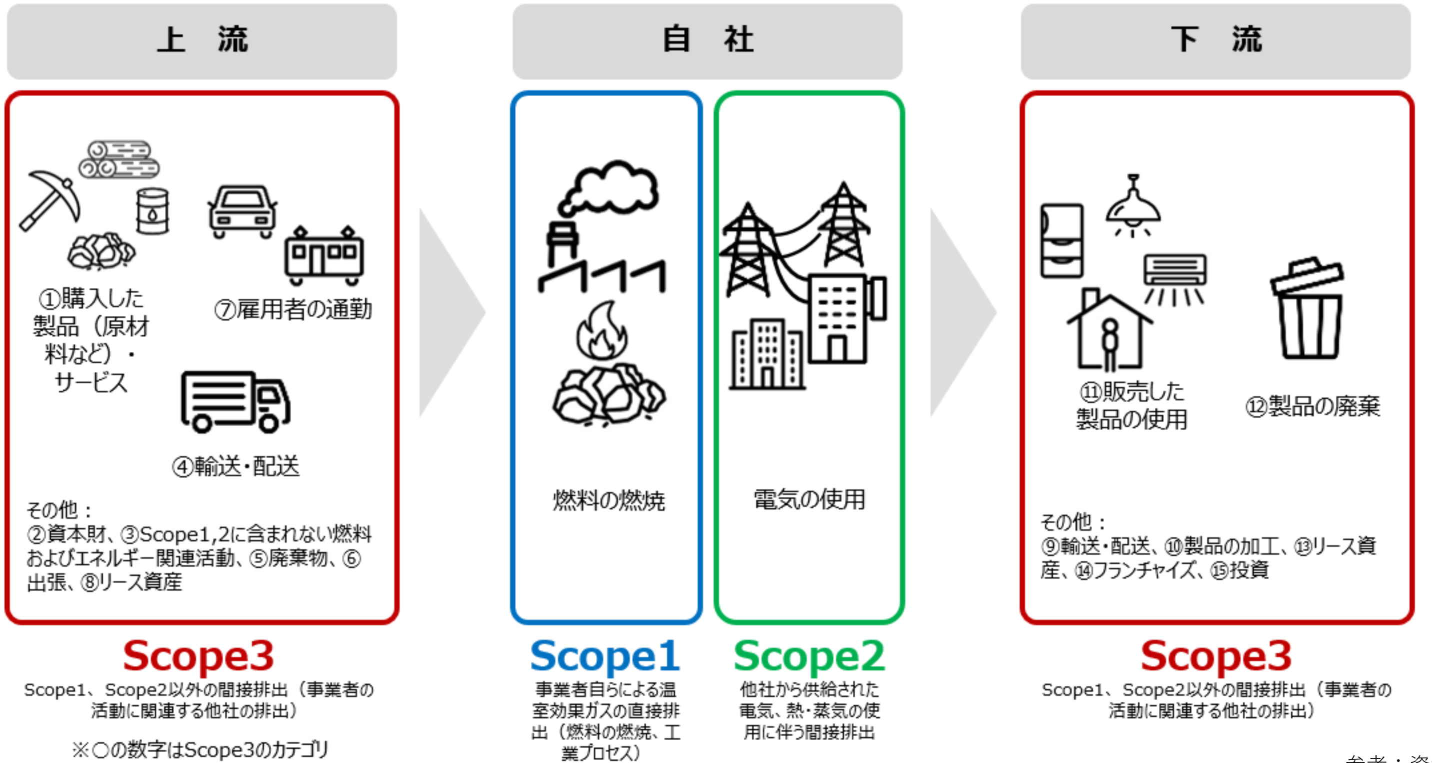
Scope3内訳
来園者移動／購入製品／燃料調達／通勤／廃棄物／出張



来園者の移動に伴う排出量が50%を占める。

サプライチェーン排出量とは

● 燃料や電気の使用により直接排出される「スコープ１」「スコープ２」と、製品の購入や廃棄など、事業活動に伴って排出される「スコープ３」を合わせて、「サプライチェーン排出量」と呼ばれている。



参考：資源エネルギー庁

▶ 旭山動物園では、2023年度からサプライチェーン排出量を測定、公表

2024年度温室効果ガス排出量（スコープ１・２・３）

- 直接的な排出（スコープ１）を、旭川市内の一般家庭の排出量に換算すると**約139世帯分に相当***
- 再生可能エネルギー由来電力を使用しているため、スコープ２はゼロ

区分	名称	2023	2024
Scope1	直接排出	658	676
Scope2	購入した電気の使用に伴う間接排出	0	0
Scope3	Scope1,2以外の間接排出（活動に関連する他社の排出）	4,482	4,521
合計		**5,140**	**5,197**

（年度）

（トンCO_2）

＊旭川市の家庭からの二酸化炭素排出量については、旭川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・第2版）（令和6年3月改定）の家庭部門の温室効果ガスと市内の世帯数を参照して算定した。
旭川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・第2版）（令和6年3月改定）より

- 2019年家庭部門現況値　862,000t-CO2 e /年
- 2019年世帯数　177,905世帯
- １世帯当たりのCO2排出量　862,000/177905＝4.85t-CO2 e/年・世帯

2024年度温室効果ガス排出量（スコープ３）

- 来園者数が８％増加したのに伴い、カテゴリー９も８％（191トンCO2）増加

区分	名称	2023	2024
カテゴリー1	購入した製品・サービス	1,749	1,611
カテゴリー2	資本財	28	—
カテゴリー3	Scope1・2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	238	236
カテゴリー5	事業から出る廃棄物	—	17
カテゴリー6	出張	8	8
カテゴリー7	雇用者の通勤	53	53
カテゴリー9	来園者の移動	2,406	2,597
合計		4,482	4,521

（年度）
（トンCO2）

＊入園者数の増加：2023年度入園者数 1,293,543人　2024年度入園者数 1,396,180人 ＋8%
＊カテゴリー1が８％（138トンCO2）削減されたのは、廃棄物を重量ベースの算出に変更し、カテゴリー1からカテゴリー5に移動したことが一因

参考

- 今回の算定は令和７年度「旭山動物園におけるCO2排出量算定支援業務」の一環で実施
- 排出原単位は「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（ver.2.6）,2024年3月,環境省・経済産業省」及び「環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等の算定のための排出原単位データベース(Ver.3.5),2025年3月,環境省」を引用
- 算定の一部は、大雪カムイミンタラDMO「来訪者満足度調査2023」を活用して実施：https://www.taisetsu-kamui.jp/
- 四捨五入の関係で、内訳の合計と合計値が一致しない場合がある。